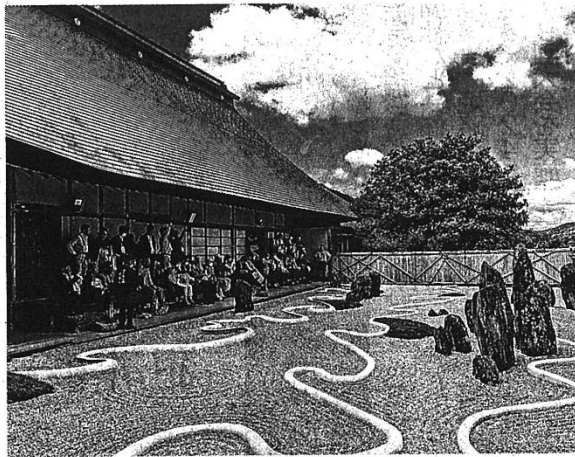


伝建協の丹波篠山市大会 福住地区の石庭、古民家視察

歴史的な町並みなどの保存活用に取り組む市町村の

2023年5月25日
神戸新聞



伝建協の全国大会で、住吉神社の「住吉の庭」を見学する行政関係者ら＝丹波篠山市川原

担当者らが集う「全国伝統的建造物群保存地区協議会（伝建協）丹波篠山市大会」の3日目を迎えた24日、同市福住の重要伝統的建造物群保存地区（重伝建地区）で関係者らによる現地視察があった。

福住には、旧西京街道沿いに農村集落と宿場町の町並みが続く。現地では約130人が班に分かれ、古民家を改修したホテル、移住へ向け1カ月単位で借りられるお試し住宅、人気カフェや雑貨店、宿場の本陣跡地に建てられた市営住宅などを見学した。和建築で用いられる焼き杉板の伝統的な作り方の実演もあった。

ガイド役は地元住民らが担当。祭礼時に出される山車1基も旧街道で披露された。多紀小学校の児童が楽器演奏で、篠山東雲高校の生徒が自ら作ったまんじゅうや焼き菓子で来訪者をもてなした。

住吉神社では、昭和を代表する作庭家・
手がけた石庭のモダンな美に感動する参加者もいた。

長崎市文化財課の
学芸員は「坂の多い長崎の重伝建でも空き家対策が悩みの種で、取り組みが参考になった」と笑顔。文化庁の
主任文化財調査官は「地元の人たちが積極的に動いているのが素晴らしい。まちづくりの原点どいうべき姿」と称賛していた。